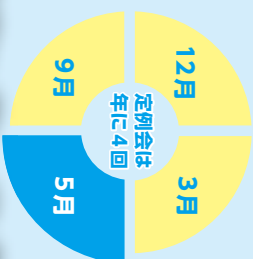


おそらびや

議会だより

令和元年5月定例会版



平成30年7月豪雨から1年



令和元年8月1日発行
(年4回)

2019.8
Vol.59

豪雨災害で、住んでいた場所からの避難や転居を余儀なくされた方々は、今なお仮設住宅や、みなし仮設住宅等で生活されています。広聴広報委員会は、仮設住宅入居の方々のお話を聴かせていただきました。

(写真左:昭和仮設住宅の訪問の様子 写真上:西仮設住宅の訪問の様子)

主な内容	
5月定例会市議会	2ページ
5月定例会市議会一般質問	4ページ
委員会活動報告	11ページ
政務活動費について	14ページ
不法投棄	15ページ
復興に向けて・その軌跡(vol. 3)	16ページ

令和元年初議会 豪雨災害から約1年 新元号と共に

5月定例市議会

5月定例市議会を5月27日から6月14日までの19日間の会期で開き、議案19件(左ページのとおろ)、の審査をしました。

令和元年度一般会計補正予算では、1億1500万円を可決しました。主な事業は次のとおりです。

自費解体申請期限延長による 解体処理補助金予算を可決

自費解体の申請期限を3月末から令和元年9月末に延長したことにより申請件数の増加が見込まれるため、予算が9千万円増額されました。これにより、判断を急がざるを得なかった被災者の方々が、今後の生活再建に向けて考える時間的猶予が増えることになりました。

豪雨災害1周年事業を開催

平成30年7月豪雨災害から1年が経ち、災害を教訓として今後の防災に対する意識を今一度確認し、また、この災害を後世に語り継ぐための1周年事業関係予算197万円が計上されました。

総社市議会としても、決して忘れることなく、復興に向け真摯に取り組んでいきます。



7月6日に開催された豪雨災害1周年事業の様子

学校給食センターの名称は

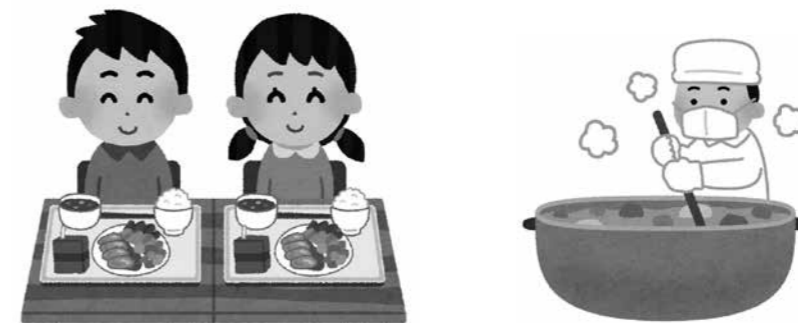
「総社市地食べ学校給食センターえがお」に決定

今まで東西の共同調理場で作られていた学校給食は、2学期から新しい調理場で作られます。

新しい調理場の名称は「総社市地食べ学校給食センターえがお」になりました。

総社市の地産地消を促す「地食べ」と「えいようまんでん」「かつこうきゅうしよく」「おいしいね」の頭文字で「えがお」が付けられています。

この名称に対しては、審議の過程で賛成・反対のそれぞれ討論があり、採決の結果、原案を賛成多数で可決しました。



令和元年5月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
報告第2号	緑越明許費について(平成30年度総社市一般会計予算)	報告を受けた
報告第3号	緑越明許費について(平成30年度総社市農業集落排水事業費特別会計予算)	報告を受けた
報告第4号	緑越明許費について(平成30年度総社市公共下水道事業費特別会計予算)	報告を受けた
報告第5号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る損害賠償の和解	報告を受けた
報告第6号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※市道の管理瑕疵に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度総社市一般会計補正予算(第13号))	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例等の一部改正)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(総社市都市計画税条例の一部を改正する条例の一部改正)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(総社市国民健康保険税条例の一部改正)	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正)	承認
議案第38号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増減及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
議案第39号	総社市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第40号	総社市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	総社市立学校給食共同調理場条例の一部改正について	原案可決
議案第42号	総社市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議案第43号	工事委託契約の締結について ※総社市公共下水道中原、泉、山手第1汚水中継ポンプ場水処理設備工事及び電気設備工事	原案可決
議案第44号	令和元年度総社市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第45号	令和元年度総社市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案乙第4号	天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議について	原案可決

令和元年5月定例総社市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名	議員名																議決結果					
		山田雅徳	溝手宣良	三上周治	仲達幸弘	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子		赤澤康宏	名木正昭	根馬和子	山口久子	剣持堅吾
議案第41号	総社市立学校給食共同調理場条例の一部改正について(修正案)	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	否決
議案第41号	総社市立学校給食共同調理場条例の一部改正について(原案)	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	原案可決

(凡例) ○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・ 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・ 加藤保博議員は、議長のため採決には加わりません。

8月定例市議会の予定

日時	内容
8月28日(水)	開会
9月3日(火)	一般質問
9月4日(水)	一般質問
9月5日(木)	一般質問
9月6日(金)	一般質問・質疑
9月9日(月)	委員会
9月10日(火)	委員会
9月11日(水)	委員会
9月20日(金)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

議長交際費執行状況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[平成31年4月～令和元年6月分] (単位：円)

支出区分	支払年月日	支出金額	支出先等
お供	6/25	16,200	前茅野市長生花
激励金	4/21	10,000	第66回岡山県消防操法訓練大会
議長賞	6/20	5,400	第73回全日本アマ将棋名人戦、一般将棋総社地区大会
土産等	6/20	2,400	講演先(丸亀市)
4月からの累計	-	34,000	-



岡崎 亨一

問 透析患者への大型連休の交通支援はどうか

答 まず雪舟くんの運行業者と相談する

市長 大型連休では予約制で臨時雪舟くんを走らせるべきと考える。業者組合と一度相談する。本当に困っている方への手立ては考える。

幼稚園・小中学校のトイレについて

問 環境改善について計画は怎么样了のか。

教育長 秦小・清音小・山手小と洋式トイレの少ないところから改善している。今年度からの2年間で計画し、令和3年度から段階的に着手する。

問 小児用トイレがない秦幼稚園・北幼稚園は怎么样了のか。

教育長 予算は付いているので早めに着手していく。

問 体育館のトイレの改善は怎么样了のか。

教育長 予算は付いているので早めに着手していく。



仲達 幸弘

問 今年の大雨に対する備えはできているか

答 豪雨を想定し、できる限りの対策をとっている

問 今年も梅雨シーズンを迎えるが、避難所やため池の管理など対策はできているか。

市長 避難所については、数を増やして対応する。職員も昨年の経験をふまえて、避難所に寄り添った対応をする。また、本市のため池の中で危険指定は8箇所、防災重点ため池は211箇所となっている。危険性のある所から、池の状況に応じた修繕で対応していきたい。

災害復興について

問 仮設住宅の今後についてどう考えるか。

市長 住居の保障は行いたい。現在、仮設住宅の入居期限は2年だが、熊本市で4年の例があり、延伸するよう働きかけをする。

問 水没した旧美袋住宅が解体・撤去されるが、その跡地利用についてどう考えるか。

市長 地元の方々の意見を踏まえて、計画していきたい。

総社市の文化行政について

問 文化芸術会議の答申を受けての「美術博物館」について、市長の思いはどうか。

市長 歴史・民俗を取り入れるべきと思う。また市民参加のスペースも必要と考える。今後財政面も考慮し、慎重に検討していく。

問 無形文化財(民話)の保存についての考えはどうか。

市長 文化財保護審議会の答申を受けて、本市としてどのように保存していくか、検討していきたい。



難波 正吾

問 特別養護老人ホームの待機者数と対策はどうか

答 特養定数は299人、入所待機者は173人である

問 働きながらの介護、老老介護と深刻な事態にある。現状と対策はどうか。

市長 特養定数は299人、待機者が173人だ。急を要する8名の入所を急ぎたい。昨年の水害で閉鎖しているさくばらホームが別法人で運営の予定である。

障がい者千五百人雇用の取組について

問 障がい者雇用への取組はどうか。

市長 雇用は厚生労働省、ハローワークの仕事で、自治体の仕事ではないが、市が責任を持って推進、実行している。

問 千五百人雇用への進捗はどうか。

市長 「質レベルの向上」をテーマに、今年度は障がい者

ベトナム790人が最も多い。

優先調達法関連で500万円の予算を計上している。

問 障がい者数と労働の実態はどうか。

市長 障がい者数は、身体2209人、知的526人、精神373人である。5月時点で1048人が就労し、所得は年収で10万〜50万円未満が18%、100万〜200万円未満が18.5%、200万〜300万円未満が3.6%である。千五百人の数を急がず、内容の充実、生活の質において全国に誇れるものを目指す。

外国人労働者について

問 外国人労働者の現状はどうか。

市長 1572人が就労し、ベトナム790人が最も多い。

外国人労働者の現状はどうか。

外国人労働者の現状はどうか。

外国人労働者の現状はどうか。



山田 雅徳

問 免許返納を促進するために本市独自の支援策はないか

答 返納者に配布する雪舟くん利用券を50枚に増やしたい

問 相次ぐ交通事故の報道を受け、市道や通学路の安全確保と対策についてどのような対策を進めるか。

教育長 滋賀県大津市の事故報道を受け、市内の幼保・小中学校関係者と警察、協力団体との緊急対策会議を開いた。今後、地域・保護者と連携し、通学路の点検や見守り方法の見直し、家庭内での周知など重点的に取り組むたい。そして通学路の安全対策については「地域力再生予算」のうち、年間1500万円が教育委員

会に充てられている。昨年度は48件の要望に対し、市で対応ができるものは12件の実施であったが、安全を確保するため、対応を加速させたい。

問 免許返納の自主返納を巡る

議論が改めて注目されている。免許返納率の状況はどうか。

市長 昨年の免許証返納者は262人。返納率は2.13%で、県内の平均(2.28%)以下だ。今年4月の返納者は36人で、昨年比で15人増だ。

問 免許証を早く返納するには自家用車に代わる移動手段は公共交通の充実が不可欠だ。

市長 免許返納者に進呈する雪舟くん利用券(300円)を、30枚から50枚に増やして自主返納を促したい。今後、雪舟くんの在り方や桃太郎線LRT化など、公共交通の充実についても議論したい。





村木 理英

問 高校生と小規模事業所マッチング事業の実施はどうか

答 実施が必要と考える

やるべきである。

問 県立高校を対象に行う場合、県と市の壁があるが協力を取り付けられるのか。

市長 県立高校に職員を訪問させて、地元小規模事業所とのマッチング事業を進めていく。本市以外の高校へも出向いて行く。

有効求人倍率とは？

$$\frac{\text{企業からの求人数}}{\text{求職者(働きたい人)}} = \text{有効求人倍率}$$

問 全国の新卒者有効求人倍率は2019年4月で1・6倍を超え、これはバブル絶頂期より高い。総社市の小規模事業所110社の新卒者採用実績も半数以下で有効求人倍率は2倍以上である。このことについてどう考えるか。

市長 由々しき事態である。

問 大卒者でも自分のやりたことが見つからず、就職が決まらない若者が増えてきている。地元高校生が進路を決めるタイミングで地元小規模事業所とマッチングを図るべきと考えるが、どうか。

市長 必要性を強く感じる。

新卒者採用のスケジュール

2020年度入社	2021年度春以降
2019年3月 説明会解禁	経団連は『就活ルール』の廃止を提言
2019年6月 面接解禁	
2019年10月 内定	

大企業に比べ、ネームバリューのない地元小規模事業所は今以上に新卒者採用が困難になることが想定される。



頓宮 美津子

問 母子手帳の電子アプリを導入してはどうか

答 導入を検討する

市長 昨年の豪雨災害の際アムダの女性リーダーや市職員の女性部長も大いに活躍した。今後もその方針でいく。

教育大綱について

問 ホームページなどに経緯や市の思いをしっかりと載せて伝えるべきと考えるがどうか。

教育長 直ちにホームページに掲載した。具体的な政策と共に進めていく。

第二次総合計画について

問 少子化対策は出生率を上げる必要がある。職場環境から改革が必要なのではないか。子育て支援の企業の登録制度など協力を得られる工夫をするべきだが。

市長 まずは役所内から改革を進めていく。



大規模地震の防災減災計画について

問 少しでも被害を少なくし、市民の防災意識を高めるために、県が作成したような防災のマニュアルを作成するべきではないか。

市長 市民に分かりやすいものを作るよう検討する。

問 災害が大きくなると女性や要配慮者の被害が大きくなると世界防災会議が公表している。女性や要配慮者の視点を審議会などに入れるべきと考えるがどうか。



萱野 哲也

問 いじりの認定こども園の運営はスムーズか

答 おおむねスムーズな運営が行えている

教育長 トラブルもあったが、今は落ち着いている。

問 いじりの認定こども園の建設についての議論や調査はしっかりしてきたが「建設後のこども園をどうしていくか」という議論が疎かになっ

ていた。こども園の初年度ということで不備や不具合もある。園の教育方針や計画は何か。不備や不具合をどう解消していくのか。

市長 大人都合ではなく、子ども本位で考えていく。初年度の不備は対応していく。

教育長 いじりの認定こども園は教育大綱を実現する施設である。幼稚園・保育園のカルチャーを消し去り、新しいカルチャーを創っていく。

問 不備や不具合を解消する

ために、保護者から意見を聴くためのアンケート調査をしてはどうか。

教育部長 職員が、日頃から保護者の意見を聴く体制を作っていく。アンケートも1学期と2学期に実施していく計画である。

問 こども園は幼稚園教育を受けさせられない。こども園の学区については、他の幼稚園選択をできるようにはならないか。

市長 検討する。

問 保育料の無償化が始まるが、幼稚園の預かり保育料はどうするのか。

市長 1万1300円を超える部分についての市の負担は考えていない。



山口 久子

問 豪雨災害の復興計画について

答 一日も早く復旧復興に頑張る

問 被災地で被災者と地域住民とが感じられる復興計画の進捗状況はいかがか。

市長 一日も早い復興復旧に頑張る。高梁川の堤防強化(県事業)、市管理の河川土砂浚渫、河川の中の樹木伐採(国県事業)、内水氾濫を防ぐための対策、排水設備の維持管理など進める。国や県にはしっかりとお願いする。内水氾濫等により浸水した家もある

ので、排水ポンプ等も設置する。今回の豪雨災害では下原地区と昭和地区が大きな被害を受けたが速やかな復旧復興を目指して、基盤整備や防災対策にしっかりと取り組み、安心して暮らせるように頑張る。

問 これから梅雨の季節を迎えるが、不安感にどのように対応していくのか。豪雨災害の起きた平成30年7月6日の昭和地区の世帯数は1328世帯であった。そのうち38世帯が豪雨災害で被害を受けた。実に約3割の世帯が被災家屋である。今後、梅雨を迎えるが、住民の不安感が大きいがどのように考えるか。

市長 今回の被害拡大にダムの放流が大きく関わっている。大雨が予想される場合に事前放流するとダム管理者と約束し、防災拠点の充実、河川道路の整備、情報の伝達などに努め、また地域が元気になるために店舗の充実など日常生活にもしっかりと対応する。



赤澤 康宏

問 市長選挙4期目に出馬するの

答 今までの取組の充実を目指して、挑戦する

問 市長は当初、首長は長く携わるべきでない、と言っていたが、7月豪雨時の采配と職員への指揮は心より感謝と尊敬に値する。4期目の市長選挙だが、出馬するのか。

市長 市長選挙に出馬する。4期目の構想は。

市長 今までに築き上げた政策の見直しと、高齢者の移動として足の確保、雪舟くんとLRTとの連携等々、本市の掲げている「全国屈指の福祉文化先駆都市」の今以上の充実に取り組むたい。

LRT構想について

問 桃太郎線LRT構想には昨年の大雨の影響はないのか。県大周辺の学園都市構想(農地転用)は順調に進んでいるのか。今後大規模な災害が

生じた場合、LRT構想はどのように判断するのか。

市長 7月豪雨被害に関する支出も含め、財政計画を立てている。ただし、同じような被害が出るなら財政を見据えて判断する。県大周辺の学園都市構想は粘り強く国と県に要望している。財政的に今以上の圧迫があれば断念する可能性はある。

清音地区生涯学習センター構想について

問 財政が安定化したなら合併時の清音地区生涯学習センター構想の想いは。

市長 旧清音公民館周辺は大切な土地である。将来的に清音地区住民や、総社市民のために活用できるように、意見を聞き進めていきたい。



高谷 幸男

問 サンロードコンベンションホールの拡張はできないか

答 借入金完済も間もなくで、施設整備と合わせて考える

問 県が中心で7月から11月まで「果物とアート」キャンペーンが開催されるが、役割はどうか。

市長 公社の活用も考えたい。産業部長 オープニング、商談会、パン、フルーツなどで情報発信したい。

問 民間活力を導入し、携帯用も含めたパンフレットを作成しPRに努めてはどうか。

市長 色々な角度から考える。名勝豪渓地内の山林の大半が市有地であり、ここへ「もみじ」の植栽はどうか。

市長 文化財法などにも照らし調整し早急に植栽したい。

日本遺産について

問 認定され1年余り経過したが、市民へのPRはどうか。

市長 桃太郎伝説を協議会の

元パンフレット、学習まんが、情報発信などで、観光客誘致に努めている。

問 市民、児童・生徒の学習機会は考えられないか。

市長 色々な機会を通じて、再認識を図る努力をしたい。

企業誘致について

問 進出希望の状況はどうか。

市長 毎年30社程度の話があるが適地がなく実現してない。人口増、税収増、雇用及び新卒者の地元希望から、積極性が必要と思うがどうか。

また、整備には法的課題もあり、県と協議はできないか。
市長 毎年残念な状況で、県と十分協議し、積極的誘致に努めたい。



深見 昌宏

問 4期目に挑戦するにあたって夢や抱負はなにか

答 ビッグ5としてLRTなどやるべきことはやる

美術館、博物館構想について

問 美術館、歴史博物館に対する市長の明確なコンセプトはなにか。

市長 美術館、博物館を持たない市であったが、これだけ風光明媚な市であり歴史があり有名な美術作家がいた中で建設するのが遅すぎた。財政を見ながらいずれ作っていくべきだと思う。美術作品と総社が持っている文化、歴史を時系列的に分かる美術博物館であるべきだと思う。サン

ロード近辺で周りを散策しながら、全国的にも特徴のある歴史の中に建つ美術博物館となればひとつの大きなコンセプトである。

防災について

問 去年の被災後の検証は

きたのか。

市長 今検証しているが7月6日までは一定の完成をさせた。

問 今後起こるとされている南海トラフ地震への対応策は考えているのか。

市長 キーワードは医療だと思ふ。アマダや医師会と連携が取れるように対策を早急に立てていきたい。

問 市内の防災組織はどうなっているか。

市長 下原地域の自主防災組織を例に、危機管理室と連携して本市全体の自主防災組織の強化をできるだけ時間をかけて行っていく。

※ビッグ5：総社市の5つの大型事業(総社小学校建設・給食センター建設・いじりの認定こども園建設・市役所新庁舎建設・美術館建設)



溝手 宣良

問 児童・生徒の安全対策(特に通学路)はどうか

答 何としても子どもたちを守っていききたい

通学路の安全対策について

問 児童・生徒を守るため、スクールゾーンやゾーン30等の通学路や生活道に、自動車を減速させるための「速度減速帯」を設置してはどうか。

教育長 良い案だとは思いますが騒音等の問題がある。

問 騒音等で近隣住民の方々からの苦情に対応する事と、児童・生徒の命を守る事どちらが大切と考えているのか。

教育長 当然、子どもたちの命が大切だ。

問 市長はどう考えるか。

市長 地域力応援予算から一定額を割り振っているのですが、その予算内で考えていきたい。

問 教育長はどうか。

教育長 一定の予算があるので、これから検討していく。



速度減速帯(バンプ)の設置例
段差により衝撃があるため確実な減速が期待できる

体育施設のトイレについて

問 内閣府の消費動向調査によると、温水洗浄便座の普及率が80%を超える中、市内の体育施設の多くのトイレには設置されていない。今後どうしていくのか。

市長 予算と相談しながら、随時設置を進めていきたい。



三宅 啓介

歩行者の安全対策について

問 大津市の事故を受けて歩行者の安全対策、特に交差点での安全をどう考えるか。

市長 子供たちを守るようなものがあれば事故をくい止められたかもしれない。大津市の事故後、本市では即座に関係者を集め通学路の安全対策会議を行った。そこでの意見を早速にまとめ、緊急改善箇所の対応を行っていききたい。

問 用水路の安全対策の現状と対応はどうか。

市長 警察に指摘された5箇所1500mの用水路で転落防止工事を今年度中に行う。更には、地元要望の50箇所も随時対応していききたい。

問 路側帯のカラー舗装化を進めるべきだがどうか。

問 スマホ対応の母子健康手帳アプリはいつ導入するのか

答 今年度中に導入したいと考えている

建設部長 学校やPTA要望があればどんどん進めていきたい。

問 交差点に企業広告付きの金属ポールを設置し、費用に充てる取組はできないか。

市長 検討したい。

外国人の子育て支援の情報発信について

問 外国人へは子育て情報が適切に伝わっているか。母子手帳は多言語対応しているか。

市長 母子手帳は日本語以外に英語、中国語、ポルトガル語など9言語に対応している。乳幼児健診の問診票、予防接種の説明資料なども多言語に対応している。検診日には職員が必要な情報を伝える協力をしている。

総務生活委員会

当委員会では審査した案件は、5月定例会では議案5件であり、全て原案どおり可決しました。

専決処分の承認を求めることについて(平成30年度総社市一般会計補正予算(第13号)(承認第2号)(所管部分)

市税、交付税、寄附金及び市債等の確定及び確定見込みに伴う補正が主なものである。

問 たばこ税の歳入増額について、税率引上げによるものだけが要因か。

答 たばこ税の税率引上げ前の駆け込み需要等により販売本数が増加した。たばこ税の増額の要因については、税率引上げによるものや、加熱式たばこの換算方法の変更、販売本数の増加等の複数の要因によるものである。

令和元年度一般会計補正予算(議案第1号)(所管部分)

豪雨災害1周年事業のプレートは、どのようなものを作成するのか。

答 総雨量や水位等の災害の記録等について記載し、石碑ではなくプレート型にして庁舎内に設置できるようにものを考えている。

問 災害のことを後世に語り継ぐということは、式典を今後も毎年実施するのか。

答 今年度は1年の節目として行うこととしているが、来年以降については、防災の日と定め、式典ではなく別の形で行っていかうと考えている。

問 特別交付税を減額して市債を増額するのはなぜか。

答 災害等の廃棄物処理事業にかかる経費が災害対策債の対象になったため、特別交付税を減額している。災害対策債は100%充当の起債であり、償還額の95%が交付税算

常盤小学校3年生が議場の見学を行いました

常盤小学校3年生20人が、6月13日に総合的な学習の授業で、市役所の役割や市役所で働く人がどんな工夫や努力をしているか学ぶために市役所に来ました。その中で、議場の見学を行い、議会の役割や議員の活動を学びました。



実際に議員席等に座りました



メモをとる子どもたち

入ということ、当面の財源確保の上では有利である。

文教福祉委員会



総務生活委員会の様子

当委員会では審査した案件は、5月定例会では議案8件であり、全て原案どおり可決しました。

専決処分の承認を求めることについて(平成30年度総社市一般会計補正予算(第13号)(承認第2号)(所管部分)

問 旧昭和児童館改修事業の今の状況はどうか。

答 既に完成し、5月の連休明けぐらいから保育事業が始まっている。

専決処分の承認を求めることについて(総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正)(承認第6号)

問 総社北小学校区の放課後児童クラブの児童数は何人か。また体制はどうか。

答 児童数は、77人である。体制は、従来1つの教室で運営をしていたが、現在2教室での運営としている。

問 指導員は足りているのか。

答 国の基準は2人だが、5人体制で運営を行っている。

総社市立学校給食共同調理場条例の一部改正について(議案第41号)

問 学校給食調理場を新設するもの

うことだが、給食調理場の職員の見度も反映されているのか。

● 調理場の職員としては、子ども達に学校で給食を笑顔で楽しくおいしく食べてもらうのが1番の願いである。調理員の意見も聞き、その主旨にも合っていることからこの名前を上程している。

問 『地食べ』という公用語ではない造語を条例文に用いることは違和感がある。条例文に関する認識はどうか。

答 『地食べ』は広辞苑や国語辞典に載っていないが、地食べ公社も一般社団法人の総社市地食べ公社ということで登記しており、愛称ではなく正式名称の団体として運営している。本市は地産地消を進めており『地食べ』を積極的に推進すべきという思いがあり、今回このような名称として提案している。

◎ 質疑を終結した後、村木委員及び山口委員から、『地

食べ学校給食センターえがお』の名称は、愛称に用いるべきで条例文には適さないという理由から、第2条を(名称及び位置)から「名称」を削り(位置)のみと規定する。」内容の修正案が提出されました。修正案の採決に入ったところ異議があり、起立採決の結果、可否同数で、委員長採決により修正案は否決されました。次に、原案について起立により採決を行ったところ、可否同数であり、委員長採決により原案を可決すべきであると決定しました。

答 認知症の方が、隣の人の窓ガラスを破損したり、列車を止めてしまうなどの偶然に引き起こした事故に対して適用される。

産業建設委員会



文教福祉委員会の様子

● 令和元年度 総社市 介護保険特別会計補正予算(第1号)(議案第45号)
・ 介護報酬改正等に伴う介護保険システム修正委託料及び徘徊高齢者等賠償責任保険料の増額が主なもの
問 賠償責任保険は、どういったことに適用されるのか。

● 総社市営住宅条例の一部改正について(議案第42号)
当委員会で審査した案件は、5月定例会では議案4件であり、全て原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

前後はあるが、竣工は3箇所とも令和3年の予定である。

問 日本下水道事業団への一括発注となっているが、災害時の復旧対応を考えると、一括発注でいいのか。

答 その点は、今後の課題である。平成30年7月豪雨の時は、発注も早かったので復旧の対応はできた。

● 令和元年度 総社市 一般会計補正予算(第1号)(議案第44号)
・ 自費解体処理補助金の増額が主なもの

問 自費解体の申請期限を延長しているが、現時点の申請状況はどうか。また、今後の見込みはどうか。

答 自費解体は5月末現在で50件の申請がある。申請期限を延長してから6件の申請があった。公費解体と自費解体で、230件程度を見込んでおり、現在178件の申請を受けている。今後の見込みは

50件程度と考えている。

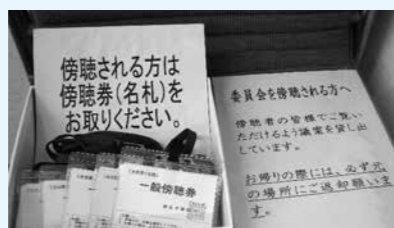


産業建設委員会の様子

常任委員会の傍聴にお越しく下さい。

総務生活委員会、文教福祉委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会の審査は原則公開されていますので、本会議と同様に、どなたでも傍聴ができます。お気軽にお越しください。

- 1 市役所本庁舎2階の第1委員会室までお越しください。(部屋が分からないときは、市役所玄関案内でお尋ねください。)
- 2 第1委員会室の前で、傍聴券(名札)をお取りください。また、中で資料(議案等)をお取りください。
- 3 傍聴者席にお座りください。



総社の災害を伝え、今後にかしてもら丸亀市「議会災害対応講演会」に参加

6月21日、加藤議長が丸亀市議会の依頼により、丸亀市役所で議員災害研修会の講師を務めました。講演会には、丸亀市議会議長、議員、丸亀市長ほか約80人が参加。講演では、市内の被災状況や議員が行った活動(ボランティアへの給水支援、救援物資の仕分けなど)を説明。参加者からは、「災害対策本部との連携」、「災害時のタブレット活用」などの質問もありました。なお、本市と丸亀市は、災害時相互応援協定を締結するとともに、昨年の豪雨災害では延べ78人の応援職員を派遣いただいています。



講演中の加藤議長

平成30年度政務活動費
収支報告書公表

政務活動費は、市政の課題及び市民の意思の把握・反映させるための活動など、議員の調査研究活動に必要な経費として、総社市議会では1人あたり月額3万5千円が議員個人に交付されます。毎年、全ての金額の領収書を添えて収支報告を行い、残金は返還することが義務付けられています。

なお、領収書や研修・先進地視察報告書等の閲覧は、平日(午前8時30分～午後5時15分)に議会事務局にて行っています。閲覧を希望される方は、どうぞお気軽にお越しください。

(問い合わせ 議会事務局)

☎083332

平成30年度政務活動費収支報告書集計表

(単位:円)

議席番号	議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
1	山田 雅徳	420,000	16,086	310,260								99,000	425,346
2	溝手 宣良	420,000	70,581	267,000					2,521	45,631		28,080	413,813
3	三上 周治	420,000	19,422	386,900					49,560	32,137			488,019
4	仲達 幸弘	420,000		500	38,131					53,228	150,000	60,000	301,859
5	萱野 哲也	420,000	2,425		170,000	157,394				19,612	90,000		439,431
6	三宅 啓介	420,000		56,170					14,820	47,434			118,424
7	岡崎 亨一	420,000	16,571	229,730						17,192			263,493
8	深見 昌宏	420,000	97,313	171,260						23,197			291,770
9	小川 進一	420,000	12,312	126,128						8,100			146,540
10	高谷 幸男	420,000		223,164	32,252				20,745	52,902			329,063
11	小西 義巳	420,000	75,295	297,170						40,155			412,620
12	難波 正吾	420,000			30,900					109,582	150,000	60,000	350,482
13	小西 利一	420,000	120,181							34,375			154,556
14	津神謙太郎	420,000							10,692	12,084		15,084	37,860
15	村木 理英	420,000		241,840				5,000		178,290			425,130
16	頓宮美津子	420,000	109,091	327,100				3,500	24,310	16,069			480,070
17	赤澤 康宏	420,000	85,507	282,970					5,160	20,445			394,082
18	名木田正昭	420,000	114,329	249,170					3,726	33,642			400,867
19	加藤 保博	420,000	99,341	69,280					818	86,523		36,000	291,962
20	根馬 和子	420,000		282,970	59,493				27,771	34,845			405,079
21	山口 久子	420,000	137,205						1,520	51,463		17,026	207,214
22	剣持 堅吾	420,000	97,996	171,260						71,436			340,692
計		9,240,000	1,073,655	3,692,872	330,776	157,394	0	8,500	161,643	988,342	390,000	315,190	7,118,372

※合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

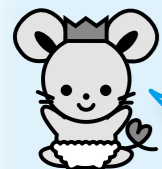
これは総社市内の現実の一部です 不法投棄問題



ポイ捨て禁止看板の横にも



きれいな沢にも大量のゴミが



ダメ ゼッタイ
不法投棄

議員あてに、市民の皆様から、ごみの不法投棄の苦情が寄せられます。ごみの不法投棄は、まちの美観を損なうだけでなく、犯罪です。絶対にやめましょう。

問い合わせ 環境課 TEL0866-92-8338



沢に入っでの回収作業



わずか30分程度で軽トラック一杯に

5月16日、広聴広報委員会は、メンバー全員で不法投棄の苦情が多く寄せられている市内の現場に、その実態を把握するために行きました。さほど山奥でもないが車通りの少ない峠道、車中からでも十分確認できる場所にゴミは散乱していました。できるだけ回収しようと、拾い始めて30分程度で軽トラックがいっぱいになりました。業者の物か、一般家庭の物か、大量に捨てられていました。しかし、不法投棄をしている人が捨てているのは、はたしてゴミだけでしょうか。人として大切な何かも一緒に捨てている気がしてなりません。何とかそれをもう一度拾い、取り戻してほしいと思います。

(溝手宣良)



さまざまな種類のゴミを分別

復興に向けて・その軌跡 (vol.3)

仮設住宅での生活で元気を取り戻し始める

仮設住宅やみなし仮設住宅等で生活をされている方々の状況を把握するため、広聴広報委員会は、5月24日に建設型仮設住宅の西仮設住宅(秦)と昭和仮設住宅(美袋)を訪問しました。

西仮設住宅では3名、また昭和仮設住宅では9名の方々と意見交換を行いました。

西仮設住宅の方から、「仮設住宅での生活には満足している。点数を付けるとしたら、85点から90点です。」「担当の市職員さんも本当によくやってくれます。」などの声がありました。

西仮設住宅では、毎月1度「〇(まる)カフェ」という行事を開催し、お茶をしませんか、みんなで笑いませんか、みんなで楽しい時間を過ごしましょう、と集会所に集まっています。

また、昭和仮設住宅で

も同様に、毎月14日を「仮設の日」として、夜皆さんが集まっています。5月30日には、広聴広報委員会委員3名で「〇(まる)カフェ」を訪問。本日に皆さん笑顔で楽しそうに、今後について不安はお持ちですが、少しずつ元気が戻ってきていると感じました。

これからも、情報収集を図りながら、被災された方々が元の生活に戻るまで広聴広報活動に努めて参りたいと思います。(仲達幸弘、三上周治)



西仮設住宅の〇(まる)カフェの様子



西仮設住宅の集会所



昭和仮設住宅の集会所



昭和仮設住宅の訪問の様子

編集後記

西日本豪雨から1年が経過しました。

発災直後から市議会ボランティア、地域づくり協議会との意見交換会や広聴広報委員会の活動を通じて、地域や世代を超えた多くのご意見を伺いました。

広聴広報委員会は「広く聴き・広く報せる」委員会です。今号の議会だより編集にあたり、これからも、集めた「声」を委員会内で共有し、議論を深め、市民皆様の生活が心から安心できるものであるよう、委員会活動をさらに加速させていく決意をあらたにしました。

(山田雅徳)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 津神謙太郎
- 副委員長 溝手 宣良
- 委員 山田 雅徳
- 委員 三上 周治
- 委員 仲達 幸弘
- 委員 村木 理英
- 委員 頓宮美津子